

# 奈路地区 市政懇談会

# 会 小学校建設用地の確保に努力

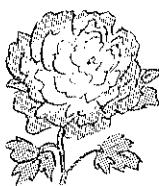
市の北部奈路地区で一月十日夜、市政懇談会が開かれました。会場の奈路公民館(川村雪子館長)には住民四十人の方が参加、市側からは小笠原市長、鈴江教育長、関係課長らが出席し、地区の抱える問題について話し合いました。

まず小笠原市長が市  
政報告——  
開発公社へ大きな借  
金を抱えており、財政  
は大変厳しい状態で  
す。財政再建審議会で  
の意見を得て、再建へ  
努力しているところで  
す。同和対策について  
は、小集落地区改良事  
業を導入し、現在野中  
地区で三割、前浜地区  
で五割の進み具合とな  
っています。  
市政の柱として、新  
しく教育施設の充実と



企業誘致を上げました。うち教育  
施設については、一年に二校ぐら  
いのテンボで、老朽校舎の改築を  
進めています。企業誘致について  
は、比江の残地を利用し工業団地  
化を目指しています。具体的には、  
ミクロ機械の進出は八分通り決ま  
り実現する運びとなっています。  
本市は空港のジェット化、南国  
インターチェンジの工事も進み、  
空と陸の玄関として、輸送網の整

奈路小の改築、水不足の問題など熱心に話し合つた



○奈路小学校の改革はいつごろになるか。  
●計画としては、部分改革でなく全面改革を考えている。校舎は二つの部分からなつており、一方は大正十一年に、他方は昭和三十一年に改築されている。前者はすぐには改築しなければならないが、後者については危険校舎の指定を受けていないので、改築となると立派省の補助が受けられない。早速に、新しい部分について、文部省の耐力検査を受けたい。  
用地については、現在の面積は三百平方メートルの規模で、実際は七百平方メートル必要で足りない。移転の二つの候補地を見たが、そこは七百平方メートルが確保できる。六十年度には用地確保に向けて努力していくたい。改築の時期は、新しい部屋が危険校舎に指定される時期に間に合ってくると思う。  
○水不足の問題は深刻だ。市としてどのように対応を。  
●昭和五十六年から地元で話し合いを進め、水源地問題についても協議をしてきた。水道局としてはを生かし、以上の四つを市政の柱として取り組んでいきたいと思いまます。

全体として使っていだく方向でないと……。個々の対応はできないので、地区としての統一見解が必要だ。とは言つても、意見の統一が難しいとの声もあり、小規模なところについては、簡易的な水道での対応も考えられ、水源水が調整できるか調査も必要だ。

○北陵中はナイター設備がされているが暗い。使用している私たちも援助はするので、照明塔の増設を考えてほしい。

●現状は十分理解しています。照明塔を増やすとなるとかなりの費用もいるが、六十年度の予算が確保できるよう努力したい。電気料は、使用者に負担してもらうことになると思う。

○新しいし尿処理場建設の進み具合はどうか。稻生地区での進展は現在お願いに伺っているが、スマーズには進んでいません。六十年度中には、決定できるよう続意努力したい。

●黒泥からのバキュームカーは、狭い道でスピードを出しており危険だ。業者へ注意してほしい。

●そういう声は聞いており、再三にわたって注意はしている。近々に業者との会があるので、厳重な注意をしたい。

3